

# G i k a i

2020.4.23 第57号

## おみたまま市議会だより



◆ ダイヤモンドの原石たち

## 子ども議会

場所：市議会議事堂

主催：青少年を育てる小美玉市民の会  
小美玉市学校長会

### Contents

- 令和2年度当初予算 P2-3
- 第1回定例会 議案審議結果 P4-7
- 委員会審査 Q & A P8-9
- 予算特別委員会 Q & A P10-11
- 一般質問 P12-18
- 行政視察報告 P18
- プレゼントクイズ・市民の声 P19
- 6月定例会予定 P20



# 一般会計予算 244 億 9,600 万円を可決



## 令和 2 年度の新規事業

**新**

先進技術導入事業 事業費 707 万円



経由で音声認識データに変換、編集することにより会議録を作成する会議録作成支援システムの導入、ソフトウェアの活用により定型業務を自動化する RPA の導入、紙文書をスキャナーで読み込み、書かれている文字を認識してデジタル化する AI-OCR の導入など、先進技術を積極的に導入することにより、業務時間の削減による人件費コストの削減や、働き方改革・行財政改革を進めていく。

**新**

産地パワーアップ事業 事業費 6,000 万円



農作物の効率的・高収益な生産出荷体制を実現するため、生産者が高収益な作物の生産・栽培体制への転換を図る際に、県補助金を活用し必要な生産資材の導入・施設整備に対する補助を行う。

農業用ハウス等の生産基盤を次世代に円滑に引き継ぐための再整備・改修や新規就農者等への継承を支援していく。



## 令和2年第1回定例会 審議結果等一覧（全35件）

番号	案件名	内 容	付託 委員会	審議 結果
<b>■条例（10件）</b>				
1	会計年度任用職員制度の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	会計年度任用職員制度の施行に伴い、関係条例の整理を行うもの	総務	可決
2	行政組織機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	小美玉市行政組織機構の見直しに伴い、関係条例の整理を行うもの	総務	可決
3	小美玉市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	令和2年4月1日から公共下水道事業に地方公営企業法の規定の一部、財務適用するため、制定するもの	産業 建設	可決
4	小美玉市下水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	令和2年4月1日から公共下水道事業に地方公営企業法の規定の一部、財務適用するため、制定するもの	産業 建設	可決
5	小美玉市下水道建設基金条例の制定について	令和2年4月1日から公共下水道事業に地方公営企業法の規定の一部、財務適用するため、制定するもの	産業 建設	可決
6	小美玉市任期付市費負担教職員の採用、給与及び勤務条件等の特例に関する条例の制定について	「小美玉市一般職の任期付職員の採用等に関する条例」の規定に基づき採用することができる任期付職員のうち、教職員についての採用、給与及び勤務条件等の特例を定めるため、制定するもの	文教 福祉	可決
7	小美玉市基金条例の一部を改正する条例について	道路整備に関する事業の推進に必要な資金を積み立て、事業目的に従って処分してきた小美玉市道路整備基金事業が、令和元年度をもって完了するため、「小美玉市道路整備基金」を廃止するもの	産業 建設	可決
8	小美玉市基金条例の一部を改正する条例について	まちづくりに関する事業の推進に必要な資金を積み立て、事業目的に従って処分してきた小美玉市まちづくり基金事業が、令和元年度をもって完了するため、「小美玉市まちづくり基金」を廃止するもの	産業 建設	可決
9	小美玉市基金条例の一部を改正する条例について	市民の生活文化の向上のため図書館の図書資料等の充実に必要な資金を積み立てることを目的といたしまして、「小美玉市図書館図書資料等整備基金」を新たに設置するため、所要の改正を行うもの	—	可決
10	小美玉市給水条例の一部を改正する条例について	水道法の一部改正により「指定給水装置工事事業者」の指定に関して、更新制度が新設されることに伴い、更新手数料の額を規定する所要の改正を行うもの	産業 建設	可決

■令和元年度補正予算（11件）

11	令和元年度小美玉市一般会計補正予算（第5号）	[補正額] [補正後額]	1億9,576万8千円 250億1,617万6千円	各委員会	可決
12	令和元年度小美玉市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	【事業勘定】 [補正額] [補正後額] 【診療施設勘定】 [補正額] [補正後額]	2億2,756万2千円 55億2,320万3千円 △ 1,346万9千円 1億2,275万5千円	文教 福祉	可決
13	令和元年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）	[補正額] [補正後額]	△ 710万3千円 5億3,208万2千円	文教 福祉	可決
14	令和元年度小美玉市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	[補正額] [補正後額]	△ 4,895万7千円 17億3,184万2千円	産業 建設	可決
15	令和元年度小美玉市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	[補正額] [補正後額]	△ 1,903万8千円 2億7,977万円	産業 建設	可決
16	令和元年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計補正予算（第3号）	[補正額] [補正後額]	△ 20万3千円 3,609万8千円	産業 建設	可決
17	令和元年度小美玉市霊園事業特別会計補正予算（第2号）	[補正額] [補正後額]	△ 889万2千円 2,633万8千円	総務	可決
18	令和元年度小美玉市介護保険特別会計補正予算（第3号）	[補正額] [補正後額]	1億2,304万6千円 40億 299万2千円	文教 福祉	可決
19	令和元年度小美玉市水道事業会計補正予算（第3号）	【収益的支出】 [補正額] [補正後額] 【資本的収入】 [補正額] [補正後額]	△ 229万7千円 8億2,098万1千円 4,072万6千円 6億8,535万円	産業 建設	可決
35	令和元年度小美玉市一般会計補正予算（第6号）	[補正額] [補正後額]	2,262万1千円 250億3,879万7千円	—	可決
36	令和元年度小美玉市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	繰越明許費2,783万円を追加補正とするもの		—	可決

## ■当初予算（5件）

23	令和2年度小美玉市農業集落排水事業特別会計予算	予算総額3億119万7千円（前年度比：1.7%）	予算特別	可決
24	令和2年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計予算	予算総額3,543万3千円（前年度比：7.7%）	予算特別	可決
25	令和2年度小美玉市霊園事業特別会計予算	予算総額1,557万6千円（前年度比：△37.6%）	予算特別	可決
27	令和2年度小美玉市水道事業会計予算	【第3条予算】 収入額 8億4,665万3千円 支出額 8億1,160万8千円 【第4条予算】 収入額 5億5,669万2千円 支出額 9億5,932万円	予算特別	可決
28	令和2年度小美玉市下水道事業会計予算	【第3条予算】 収入額 11億8,445万8千円 支出額 11億3,508万4千円 【第4条予算】 収入額 7億762万1千円 支出額 11億2,004万円	予算特別	可決

## ■その他（6件）

29	市道路線の認定について	羽鳥駅周辺整備事業に伴い整備される東西自由通路を市道美1649号線として認定するもの	産業建設	可決
30	市道路線の廃止について	用途廃止申請に伴い宮田地区1路線（市道小10584号線）の廃止を提案するもの	産業建設	可決
31	公の施設の広域利用に関する協議について	小美玉市と水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町及び東海村との間において協定を結んでいる公の施設の広域利用について、対象施設の変更に伴い、改めて協定を定めるもの	総務	可決
32	公の施設の広域利用に関する協議について	小美玉市と石岡市、行方市及び茨城町との間において協定を結んでいる公の施設の広域利用について、対象施設の変更に伴い、改めて協定を定めるもの	総務	可決
33	土地使用貸借契約の変更契約の締結について	小美玉市医療センターの新病院建設に伴い、土地使用貸借変更契約を締結する必要があるため、この案を提出するもの	文教福祉	可決
34	工事委託契約の変更契約の締結について	常磐線羽鳥駅 橋上駅舎化及び東西自由通路 新設工事の工事費精算に伴い、原契約20億49万6千円に変更額3,456万776円を減額し、変更契約額19億6,593万5,224円として、工事委託契約の変更を提案するもの	産業建設	可決

【賛否が分かれた議案等】

※議長は採決に参加しません。

No	議案に対する賛否 (賛成：○・反対：●)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20	付託 委員会	審議 結果
		戸田 見良	香取 憲一	長津 智之	島田 清一郎	村田 春樹	木村 喜一	植木 弘子	石井 旭	幡谷 好文	谷仲 和雄	長島 幸男	岩本 好夫	福島 ヤヨヒ	小川 賢治	大槻 良明	田村 昌男	市村 文男	荒川 一秀	野村 武勝		

■令和2年度 当初予算（4件）

20	令和2年度小美玉市一般 会計予算	244億9,600万円（前年度比：5.7%）																			予算 特別	可決
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	令和2年度小美玉市国民 健康保険特別会計予算	【事業勘定】 51億6,170万5千円（前年度比：△2.6%） 【診療施設勘定 白河診療所】 1億2,228万3千円（前年度比：△7.7%）																			予算 特別	可決
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	令和2年度小美玉市後期 高齢者医療保険特別会計 予算	5億8,423万4千円（前年度比：10.2%）																			予算 特別	可決
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	令和2年度小美玉市介護 保険特別会計予算	【介護保険事業勘定】 39億6,699万7千円（前年度比：4.2%） 【介護サービス事業勘定】 625万1千円（前年度比：△3.1%）																			予算 特別	可決
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■陳情（1件）

- 1 「最低賃金の大幅引き上げと  
中小企業支援策の拡充を求め  
る意見書」採択の請願書
- 請願者：茨城県労働組合総連合 議長 白石勝巳  
紹介議員：福島 ヤヨヒ
- 総務 不採択

市村文男議員に感謝状贈呈

茨城県市議会議長会副会長として  
会務の運営と地方自治の伸張および  
市政の向上発展に尽くした功績を称  
え、茨城県市議会議長会から感謝状  
が贈呈されました。

受賞おめでとうございます。



市村文男議員

# 常任委員会 Q & A

小美玉市議会には3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）があります。議員はいずれかの委員会に属し議案審査に当たります。3月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

## 総務

(委員) 田村 槻本 仲  
村戸 市大 岩谷

行政組織機構改革に伴う  
関係条例の整理に関する  
条例の制定について

問 文化スポーツ振興部の構成  
と配置場所は。

答 生涯学習課、スポーツ推進課、  
生活文化課で構成される。

配置場所は、生涯学習課、スポ  
ーツ推進課は、小川総合支所の2  
階に配置。生活文化課は四季文化  
館を拠点とする。

問 福祉部子ども福祉課が、令和2  
年度から教育委員会所管の子ども  
課になるが配置場所は。

答 福祉部子ども福祉課は、玉里  
総合支所にあつたが、令和2年度  
から、教育委員会所管の子ども課  
に変わり、小川総合支所2階に配  
置する。



▲総務常任委員会の様子

## 産業建設

(委員) 川田 村 村 島 井  
荒 島 野 田 福 石

### 水道事業

問 歳入で新規加入金の増額補正  
理由は。

答 消費増税前の新築等が増えた  
ことに伴って、水道加入者も増  
加したと思われる。

### 給水条例改正

問 改正の理由と内容は。  
事業者にとっては負担が増える  
改正なので、関係者に対しては  
しっかりとした説明をしていた  
だきたい。

答 指定給水装置工事事業者の指  
定は初回登録のみだったが、国  
の法改正により5年毎の更新が  
義務付けられたため、本条例に  
おいて更新手数料を定めるなど  
の改正を行うもの。



▲産業建設常任委員会の現地視察の様子

# 常任委員会 Q & A

## 畜産振興事業

**問** おもてなし記念品、初たまご記念品事業の実績は。

**答** 2月末現在で、おもてなし記念品は1759名の方に引換券を配布し、1072名の方が引換をした。初たまご記念品は、292名の方に引換券を配布し、236名の方が引換をした。

**意見** 空のえき「そ・ら・ら」以外でも引換えが出来るように検討してほしい。

### ※おもてなし記念品

『ヨーグルトのまち小美玉』に転入された方に、歓迎の気持ちを込めたおもてなしとして、また、市の特産品であるヨーグルトを知っていただくため、「おみたまヨーグルト」をプレゼント。

### ※初たまご記念品

『鶏卵日本一』であることを広くアピールするため、また、元気で玉のようなお子様の誕生を願い、母子健康手帳の交付を受けられた方に、初たまご（産卵を始めた鶏が1か月以内に産んだ卵）をプレゼント。

## 文教福祉

員) 村津川 島谷 木取  
(委) 木長 小長 幡 植 香

### 特定疾病療養見舞金 小児慢性特定疾病見舞金

**問** 減額の理由は、対象者が減っているからか。

**答** 対象者は増えているが、見込人数より申請者数が少なかった。見舞金の支給交付には、市への申請が必要となるが、特定疾患の認定申請窓口は保健所となっているため、市では対象者が把握できず通知ができない。現在は、広報紙へ年5回ほど掲載している。



▲文教福祉常任委員会の様子

### 小中学校情報通信 ネットワーク整備

**問** 小中学校の情報通信ネットワーク整備工事の内容は。

**答** 国のGIGAスクール構想に沿った取り組みで、各教室に無線LANなどを設置し、令和5年度までを目標に児童・生徒1人1台のタブレット等端末が授業等で使えるようにする環境整備。

### 土地使用貸借契約の変更

**問** 土地使用貸借契約の面積が変更になった理由は。

**答** 医療法人財団古宿会と医療センター民間移譲に係る土地使用貸借契約をしているが、別法人が保育施設と薬局を建設することになったため建設予定地を有償で貸し付けることとなったため。

### 任期付市費負担教職員

**問** 弾力的な学級編成の目指すところは。

**答** 教職員の数を増やして少人数学級への移行や現場の負担軽減を総合的に目指す。

# 予算特別委員会Q & A

## 市政全般・市民生活・消防

### ふるさと寄附金事業

**問** 返礼品の厳格化で、寄附金が減少していると思うが、ふるさと寄附金がピークの頃と令和2年度の予算計上の差はどれくらいだったか。

**答** 平成29年度が、ピークで、寄附件数が1万6435件、寄附額が1億9061万8千円だった。本年度の見込みは、寄附件数約7000件で、寄附額は、1億1000万を見込んでいる。ピークと、比較すると、約8000万円減少。



### 先進技術導入事業

**問** 具体的な事業内容は。

**答** RPA実証実験を行ったところ。RPA化した、業務の実証実験の中で、36%の減、AIOCRで行う業務については、75%の減で、業務の稼働時間が短縮できた。  
このことを踏まえ、次年度は、本格的導入し、単一的な同一業務を繰り返し行う業務を主体に取り組んでいく。

### ※RPAとは

作業手順を、操作画面上で登録すると、ルールに沿って、業務が自動的に進んでいく。単純作業がRPAは得意であり、導入することにより、大幅な業務の効率化が期待できる。

## 教育・福祉・医療

### 幼小連携の推進

**問** 竹原小学校内への幼稚園設置に向けた取り組みに関する整備工事は。

**答** 現在、予備教室となっている4教室を、2つの園児教室、遊戯室と職員室に、トイレは幼稚園用に改修し、校舎外の整備では遊具の設置を予定している。

### 日常生活用具給付事業

**問** この事業の対象者に十分に周知されているか。

**答** 今後も広報や職員およびケアマネージャーにより、必要な方に支給できるように働きかけていく。

# 予算特別委員会Q & A

## 子育て世代包括支援センター

**問** 四季健康館内に設置される、子育て世代包括支援センターの事務内容は。

**答** 基本的には、妊娠から出産、また出産後の子育てに関する相談業務を行う。

※子育て世代包括支援センターとは、安心して妊娠・出産を迎え、楽しく子育てができるよう、保健師などがサポートしてくれる窓口です。

子育て

・子育て相談



出産

・赤ちゃん訪問  
・産後ケア  
(訪問、デイケア、宿泊)

妊娠

・母子健康手帳発行  
・ハローベビー教室

## 都市建設・産業経済

### 多面的機能支払交付金事業

**問** 事業内容と市内での取組状況は。

**答** 農地法面の草刈、水路の泥上、農道の路面維持の他、植栽による景観形成や生態系保全などの農村環境保全活動など、農業資源の質的向上を目的に交付される補助事業。市内では21地区が取り組んでおり、実施地区は年々増加傾向にある。

### 意見

地域の小学生との共同実施や3世代交流事業の一環として実施するなど、素晴らしい取り組みもあるようなので、活動内容の紹介等を広報していただき、事業の更なる利用拡大に繋げてほしい。

## 小美玉市のGAP認証

**問** 現在の小美玉市のGAP認証状況は。

**答** 小美玉市では、小川二丁部会と美野里地区の個人の方が、県のGAP認証を受けており、現在、美野里二丁部会と玉里レンコン部会が認証に向けて準備を進めている。

### 意見

小美玉市の農業振興のために、多くの農業者がGAP認証を取得できるように取り組みをお願いしたい。

※GAPとは・・・

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのこと。これを多くの農業者や産地が取り入れることにより、結果として競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善、消費者の信頼の確保に繋がる。東京オリンピック・パラリンピック大会では、GAP認証等を取得した農産物が、選手村などで提供される。

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

# 一般質問します！



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

## 【質問議員 12 名】 (質問順)

- P12 木村 喜一
- P13 島田 清一郎
- 福島 ヤヨビ
- P14 谷仲 和雄
- 長津 智之
- P15 石井 旭
- 村田 春樹
- P16 田村 昌男
- 戸田 見良
- P17 小川 賢治
- 植木 弘子
- P18 香取 憲一

## 農地付空家の流通促進で集落に活気と潤いを

### 農業委員会と環境課で即座対応の為、連携強化する



#### 木村 喜一

- Q** 次期まち・ひと・しごと創生総合戦略目標「地方創生SDGs」実現に向けた持続可能なまちづくり推進について。
- A** 企画財政部長 普及活動を続けながら、立場、組織、領域を越えて協働する地域の担い手を増やしていきたい。
- Q** 温室効果ガス排出を削減する地域づくりを。
- A** 企画財政部長 昨年、国の2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度で26%削減するという国民運動に賛同し、昨年10月1日に国民運動「クールチョイス」宣言都市として認定された。温室効果ガスの排出削減に向け、引き続き地球温暖化対策に取り組む。
- Q** 気候変動への適応を進める地域づくりとして、防災・減災などへの取り組みの推進について。
- A** 企画財政部長 地域防災力の向上を図るため、各小学校区や地域コミュニティ単位での市民参加型防災訓練の実施を推進し、地域住民ひとりひとりの防災意識の高揚を図る中で、「共助」の意識を醸成し、災害に強い街づくりを努めて参りたい。
- Q** 農地付空家の流通を促す為、農地5000㎡以上でないが現在新規取得が出来ないが、面積の大幅緩和を早急に実施し、空家流通を促すと同時に、耕作放棄地の一括解消を計るべきでは。
- A** 農業委員会事務局長 下限面積の引下げや特例措置としての面積の設定なども視野に入れ、農地付空家の課題解消に努めてまいりたい。
- Q** ドローンの導入で行政事務の効率化を望む。(災害時の情報収集・不法投棄監視・観光空撮・橋梁等高架建設物インフラ点検・基本測量や道路計画・放棄地の把握)
- A** 市長公室長 昨年2月に薬剤の散布などの実演を実施した他、残土の不法投棄の調査、確認などに利用している。今後も導入に向け協議を重ねていく。



## 安全・安心なまちづくりの備えについて

### 市民の安全確保を最優先で取り組む

島田 清一郎

**Q** 今後発生が予想される関東、東海地震について。

**A** 危機管理監 小美玉 市地域防災計画の第3編で、震災予防計画、震災応急対策計画が定められており、震災の備えを行っている。

**Q** 台風の直撃について。

**A** 危機管理監 台風の大型化やゲリラ豪雨により風水害による災害リスクが高まっている。避難所開設避難勧告等の発令について迅速な対応を行い市民の安全確保を最優先で取り組む。

**Q** 伝染病の蔓延防止について。

**A** 危機管理監 小美玉 市地域防災計画には、感染症・伝染病に対する取るべき防疫体制が定められており、災害時には、これにより予防対策を実施する。

**Q** 災害発生時の体の不自由な人や高齢者への救援体制について。

**A** 危機管理監 要支援者名簿により災害の危険性があるときは、避難の支援を行う。大きな災害が発生した場合には、行政が行う公助の機能が低下する可能性があり、救助、初期消火、要支援者への避難支援など、自助、共助からなる地域の防災力が有効となる。

**Q** 防犯カメラの設置状況と今後の設置計画について。

**A** 危機管理監 道路沿線や交差点に27台の防犯カメラが設置されている。今後の設置計画については、現在設置してある防犯カメラの効果をまず、検証し、補助金等の財源確保に取り組み、新たに設置すべき場所を、関係機関、警察などと協議していく。

## 誰もが住み続けられるまちづくりを

### 引き続き調査研究をしてまいりたい

福島 ヤヨヒ

**Q** 安心して子育てできるまちづくりとして、中学入学時の支援策や、給食費への補助の充実、医療費支援策として初診時窓口負担ゼロや、子どもの国保税の均等割り税に対する支援策の検討はされているか。

**A** 教育部長 就学支援については修学旅行、校外学習費などの保持を行い他の自治体より多くの支援を行っている。給食費についても他の自治体より安く公費負担も多く実施している。

**A** 保健衛生部長 子どももの国保税負担に対しても近隣の状況を把握して調査研究していきたい。

**Q** 高齢者も安心して住み続けられるための外出支援策として、デマンドタクシーの検討はされているか。高齢者は難聴になりやすいが、難聴者の補聴器補助制度はあるか。介護認定はどうして受けられるのか説明会などを行っているか。

**A** 福祉部長 公共交通会議を3月に行い、市内の循環バスについてや、今後の在り方をデマンドタクシーも含め検討していく。タクシー券の利用も多く高齢者の生の声を聞き検討を重ねていく。難聴については障害者認定を受けられるよう丁寧に説明していく。介護についての周知は相談窓口などで十分な対応をしていきたい。

**Q** 安全安心な小美玉市のために百里基地での訓練状況の把握はできているか。改めて市長に問うが、東海第二原発再稼働ストップ宣言を。

**A** 都市建設部長 百里基地訓練においては充分な意思疎通を図り、周辺住民の皆様の理解を得ながら要望活動を行っていく。

**A** 危機管理監 東海第二原発においては、廃炉を求める請願を採択しており、脱原発を目指す首長会議に加盟し、また15市町村と安全対策首長会議の中で連携していく。

通学路の指定を踏まえ、交通安全プログラムの運用は

プログラムに基づき通学路の安全確保を効果的に行う

谷仲 和雄



Q 令和2年4月1日より通学路の設定等の基準に基づく通学路の指定が実施となる。これを踏まえたプログラム運用は、



▲プログラムを通し県道の歩道整備につながった事例（2月19日撮影）

えるものと考え。教育委員会としては、引き続き、本プログラムを効果的かつ実践的に運用するためのプラットフォーム（土台）としての役割に努める。

Q 第4次行革推進にあたり行財政改革を総合計画の一つの基本施策として捉え、個別施策ごの実施項目類の達成度を成果指標に、行革のテーマを抽出する方法も選択肢の一つ。

この取り組みの下、ローリング方式での進行管理により、より統制的効いた実施計画類になるものと考えている。

A 教育部長 通学路の設定等に関する基準と通学路における児童等の安全確保に関する指針を踏まえ、令和2年4月1日から各学校で保護者の意見をもとに通学路を設定する。これにより、優先的に安全を確保すべき箇所について、より明確となり、交通安全プログラムに基づく通学路の安全確保を効果的に行

A 総務部長 第4次行革策定にあたっては、総合計画とより整合を取り、更に令和2年度には、公共施設等総合管理計画に基づく「公共施設建築物系個別施設計画」も同時に策定していくことから、本計画との整合を図ったものをイメージしている。

地域住民は生活道路の整備に期待が大きい

関係者の承諾を取り事業化へ協議調整する

長津 智之



Q 本市の道路整備状況は、質、量とも十分とは言えない。地域住民は、生活道路の整備に寄せる期待は大きい。

②市道玉313号線の改良工事について。改良区間は本田材木脇から、霞台厚生施設組合までの生活道路について。

①市道玉1号線の改修工事について。

③市道玉818号線の改良工事について。改良区間は、根玉里常会内の採石敷道路

改修区間は、べんてる(株)や丸玉産業(株)等が立地している区間である。工業団地内で交通量も多く、大型車両も通行するので路面の痛みも激しい箇所である。代替工事等も踏まえ舗装改修工事をお願いしたい。

A 都市建設部長 道路整備につきましては、区長が地権者及び関係者の承諾等を取りまとめ、道路整備要望書を提出していただき、事業化へ向けて協議調整を図る。

A 都市建設部長 工業団地付近は、大型車両や通勤車両の往来が多数あり、路面が損傷しやすい状況である。市実施計画を踏まえ、国庫補助要望をし、事業化に向けて準備をしている。



▲市道玉1号線



(仮称) 石岡地域医療センターへの関わり方は

産科小児科に限定して支援していく

石井 旭

**Q (仮称) 石岡地域医療センターの検討経緯と、小美玉市医療センターとの関係について市長に伺う。**

**Q 新型コロナウイルス感染症における市民への安心安全対策対応を伺う。**

**A 市長 石岡市医師会工リアで出産できる医療機関がなくなったことを契機に、医師不足をはじめとする地域の医療課題が明らかに、石岡地域で安心して医療を受けることができるまちづくりを目指す主体的な取り組みを推進していくため「石岡地域医療計画」を策定した。今後は、石岡市において「病院整備基本構想」を策定する予定。「小美玉市医療センターとの関係について」は、(仮称)石岡地域医療センターとの関わりとして、小美玉市医療センターでは診察することのできない産科や小児科の入院での連携が考えられ、あくまでも競合しない範囲での医療の充実という観点で、連携を図**

**A 保健衛生部長 感染症に関する正確な情報を伝達するため、1月29日より市のホームページの「お知らせ」に、国の発信する関連情報のリンクを貼り付ける等、随時新情報を更新する。また、ネット環境がない方を含め全市民に対する啓発として、公共施設内に厚労省発行の手洗い及び咳エチケットのポスターを掲示、またアルコール消毒液の設置を行い、施設を利用される市民に対し普及啓発を行っている。**

**Q 市内循環バス等の検討状況を伺う。**

**A 企画財政部長 3月に行う市地域公共交通会議において、市循環バスの方向性を議論する。デマンドタクシーの導入について再検証する予定。**

羽鳥駅周辺整備事業・駅前広場の進捗状況は

駅利用者の安全に配慮しながら完成を目指す

村田 春樹

**Q 羽鳥駅周辺整備事業、駅前広場整備の進捗状況並びに今後の方向性について。**

**Q 新たな駐輪場の自車の収納できる台数は。**

**A 都市建設部長 今年1月に階段を供用開始するとともに、エレベーター及び公衆トイレを含めて2月16日に橋上駅舎及び東西自由通路の全面供用を開始。駅前広場整備の進捗状況は、橋上駅舎化及び東西自由通路の工事が完了したことにより、施工スペースがあった工事の仮囲いが撤去されたところ。東口、西口ともに、今年度末には一部の土木工事及び歩行者通路上屋工事に着手する予定。**

**A 都市建設部長 新たな駐輪場に100台、現在ある仮設駐輪場に150台計250台程度を検討している。**

**Q 駐輪場の一斉点検の手法と撤去、処分条件は。**

**A 都市建設部長 一斉点検の手法は、利用期間調査票を1か月程度、自車のハンドルにつけ、利用のない自車については一時期かりとして保管し、その後クリーンセンターで処分している。**

**【その他の質問】**  
「コロナウイルスについて」



# 防災重点ため池の調査と管理は 適切な施設管理に取り組む



田村 昌男

**Q** 防災重点、ため池の調査と管理今後の対策について。

**A** 危機管理監 平成26年度にため池の一斉点検を実施。ため池として活用されているのが88箇所、水がない池が26箇所、現況が確認できない池が14箇所だった。ため池として活用されている池は、周辺の草刈や植栽されている樹木の管理は、ため池の水を活用している石岡台地土地改良区や地元維持管理組合が行っている。管理の中で大規模な補修や危険箇所の解消が必要になった場合には、市が補修工事等を実施。今後も、管理組合と連絡を取りながら、危険箇所の解消など適切な施設管理に取り組んでいく。

**Q** 市道の排水路の整備、河川の整備や管理をしているか。

**A** 都市建設部長 道路整備を行なう中で、側溝などの排水構造物を設置することを条件としている。



▲小川北中学校周辺の梶無川

道路を舗装整備するだけでは、路面水等の流末がないため、低地に流れ込んでしまい、地権者や耕作者の方々に迷惑をかけるおそれがあるため、U字型側溝などの排水路を設置するようにしている。また、側溝の断面寸法は、雨量・集水面積・勾配・排水の目的等の要素を踏まえて設計しているが、最小断面は維持管理を考慮し、縦30センチ横30センチとしている。道路改良に伴う排水路の整備は、地域の地形や周辺への排水流入の影響など、地域の実情を把握した排水対策も求められていることを認識しながら、道路整備に努める。

# マスタープランにある小美玉市発展均衡化を

## 今後2か年で計画する中で視野に入れながら検討する



戸田 見良

**Q** 小美玉市指定管理施設について。

**①** 市内教育施設建設時の指定管理運動施設の共用活用について。

**②** 玉里学園義務教育学校建設時の運動施設共用活用の配慮を美野里地区竹原小でも対応できるか。

**③** 災害緊急時の指定管理施設の避難所開設における対応について。

**A** 総務部長 ①学校活動において、指定管理者と連絡を密にスムーズに施設利用できるように努める。

**A** 教育部長 ②長期休み等も活用しながら不都合やリスクを最小限に抑えながら整備する。

**【要望】**  
○学校・保護者のみなさんとよく対話をしながら進めてもらいたい。

**A** 総務部長 ③指定管理者と災害時における避難所開設が迅速にできるよう協議、調整を進める。

**Q** 小美玉市まちづくり構想について。

**①** まちづくり構想の追加（つくば霞ヶ浦りんりんロードの活用を追加すべきでは）

**②** マスタープランにある小美玉市発展均衡化が示されているが、小川市街地・玉里地域にも計画の追加を。

**A** 企画財政部長 ①コース再検証や新たなコース検証を含め検討していく。

**A** 都市建設部長 ②今後2か年で計画する中で視野に入れながら検討する。

**【要望】**  
つくば霞ヶ浦りんりんロードの霞ヶ浦大橋から北側コースを初心者・ファミリー向けコースとして活用し、そのための駐車場・休憩所

高浜・高崎、下玉里地区、小川市街地・空港につながるコースも検討願いたい。

**【その他の質問】**  
小美玉市周辺地域医療のこれからについて他

※SDGs（持続可能な開発目標）・・・2030年までに達成する17の国際目標



## SDGsの目標に本市の取り組む優先テーマは

国のアクションプランで示されている8つの優先分野において取り組みを推進したい

### 小川 賢治

**Q** 国のアクションプランにおける優先分野のうち①「あらゆる人々の活躍推進」②「健康・長寿の達成」③「平和と安全・安心社会の現実」④SDGs実施推進の体制と手段」の説明を伺う。

**A** 企画財政部長 ①児童虐待防止では子育ての不安解消や養育能力等の、相談体制の構築。貧困対策では、福祉・教育分野で民間と連携し、公平な学習機会の提供のため塾を開設している。

②「生活習慣病予防事業の充実」では健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、生活習慣病の発作予防及び、重症化・再発予防の徹底を図っている。

③防犯ネットワーク及び防犯設備を強化し、地域における自主的な防犯活動の支援を図っている。④市広報紙にSDGsにおける啓発記事を掲載し、市民が分かりやすくSDGsを理解できるように推進していく。

**Q** 令和2年度新規事業について①産地パワーアップ事業の内容は。②都市計画マスタープラン策定事業の部分改定作業は。

**A** 産業経済部長 ①新ひたち野農協ハウスレンコン協議会が実施するレンコン栽培用の低コスト耐候性ハウス8棟、面積70aを整備するもの。

**A** 都市建設部長 ②「茨城空港周辺」や「県道茨城空港線沿いの土地利用構想」「市道美1627号線」についてより良く改定すべき点。



▲整備が進む市道美1627号線（江戸地内）

**Q** 交通安全対策、高齢者の急発進抑制装置に後付け装置の購入、設置費用の一部補助の考えを伺う。

**A** 危機管理監 国の状況や県の動向を見据えながら検討していきたい。

**Q** 小美玉市内高齢者の運転免許保有者数は。

**A** 危機管理監 平成30年65歳以上総数36192人内9413人26%で、4人に1人は65歳。

## お悔やみ窓口の開設を求める

### 提供できる仕組みの構築を図る

### 植木 弘子

**Q** 遺族の方々の負担軽減のため、お悔やみ窓口の開設を求める。

**A** 市民生活部長 死亡届提出の窓口である市民課、小川総合支所、玉里総合支所の3課が、市役所に届けなければならぬ他課の情報も効果的に把握し、ご遺族に提供できる仕組みの構築を考えている。実証運用を図り、より良いサービス提供ができるよう改善を重ねていく。

**Q** ゴミ出し支援事業について。高齢社会が深刻化していく中、ゴミ出し支援をはじめとした公的な支援、住民間で構築される見守りネットワークなどにより、高齢者が安心して暮らせる町づくりが求められている。見解を伺う。

**A** 市民生活部長 特別交付税措置の活用を視野に入れながら、国・近隣自治体の動向を踏まえ、市内における高齢者等の実態を把握しながら、関係各課と連携を図り、調査研究を深める。

**Q** 読書活動推進について、ブックスタート事業の拡充としてセカンドブック・サードブック事業の実施を求める。

**A** 教育部長 「子供の読書活動推進計画」の策定を検討し、財源の問題や時期を含めて検討する。

**Q** ICT機器の整備、充実について。

**A** 教育部長 GIGAスクール構想の実現に向けて、本補正予算では、国の補正予算による補助金を財源として活用するため、予算前倒しの措置をお願いしている。

#### 【その他の質問】

新型コロナウイルス肺炎への対応について

・市の相談窓口、対応

・マスク、アルコール消毒剤の備蓄と活用

・休校に伴う対応（給食、放課後子どもプラン）

小学校跡地利活用決定はスピード感を持って

公共施設個別計画のもと連携を強化し進める



香取 憲一

Q 小川・橘両小学校の跡地の進捗状況と今後の課題について。

A 総務部長 昨年5月から市で素案を策定。12月までに利活用方針を決定し、具体的計画着手は当初計画より少々遅れているが、急傾斜地や予算等様々な問題をクリアしながら取り組んでいく予定。閉校してから約1年間で両校合計維持管理コストが350万円かかっている現状であり、まずは、令和2年度予算において小川小学校のプール解体(1620万円予算)から着手を予定している。

【要望】

縦割を排除した組織横断のプロジェクトチームを編成し、権限を委譲してスピード感を持って進めて頂きたい。市民の皆さまの関心は非常に高い。

Q 民間となった新小美玉市医療センターへの今後の関わり方と課題について。



▲小川小学校跡地

A 保健衛生部長 医療センターは平成31年2月に民間移譲したが、地域医療存続のために市では、運営費として最大15億円を10年間で分割交付していく予定。ゆえに「小美玉市医療センター地域医療存続運営評価委員会」を設置し、新病院の運営のあり方や交付金の使途及び経営状況等の調査検討を行い、市民に必要な医療が確保され要望していく。また、多くの皆さまが、望まれている訪問診療系を含めた在宅医療サービスについて強く要望していきたいと考えている。

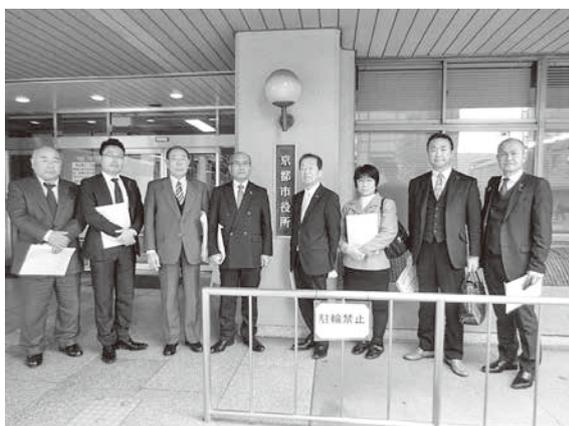
正副議長・委員長  
議会運営委員会  
合同視察研修

◆視察日：令和2年2月4日

～2月5日

◆議員

市村文男・笹目雄一・田村昌男  
石井 旭・植木弘子・木村喜一  
村田春樹・島田清一郎



▶京都府京都市会にて

◆研修先・内容

「議会映像配信について」

(京都府京都市会)

これまで、小美玉市議会においては議会改革を積極的に推進し、小美玉市議会基本条例の基本理念である「市民の負託に応えうる開かれた議論に基づく公平公正な議会を目指して」議会報告会の開催や、政治倫理条例の遵守などの取り組みを段階的に進めてきた。

今後、更に議会改革を加速させていくために、議員としての見聞を広め先進地の取り組みを視察・研修することによって、議会運営や行政課題に対して幅広い対応力を養うとともに、信頼される議会運営に反映するもの。

このたび、本市の議会改革項目でもある「議会映像配信」について、京都府京都市会が行なっている議会映像配信の取り組みについて視察を行ない、本市議会運営の更なる改革推進に資する。

京都市会では、インターネットによる配信と、YouTubeライブによる生中継を実施しており、多くの市民が手軽に議会情報を視聴することが出来る。

本市議会においても、早期実施に向け検討する。

## 第55回 プレゼントクイズ

今回の議会だより第57号の中から、問題を3つ出題します。正解した方の中から抽選で、10名の方に「キャトル・セゾン」(四季の里内)のお食事券1,000円分をプレゼントいたします。ぜひご応募ください!

問① 小美玉市の一般会計予算額は、〇〇〇億9,600万円でした。

問② 令和2年第1回定例会で一般質問した議員は何人?

問③ 令和2年度第2回定例会は6月〇日開会予定。

◇応募方法 はがき・FAXなどで、住所、氏名、クイズの答えを明記してご応募ください。  
また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

◇応募〆切 令和2年5月29日(金)まで \*当日消印有効

◇応募先 〒319-0192 小美玉市堅倉835 小美玉市役所 議会事務局 宛 FAX:0299-48-1199  
☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用しません。

## 第54回クイズの当選者

21通のご応募ありがとうございます。

ご当選おめでとうございます!

西郷地・男性	山 野・女性
幡 谷・男性	下玉里・女性
羽 鳥・男性	幡 谷・男性
上玉里・女性	山 野・女性
中 台・女性	田木谷・男性

※クイズの当選者発表は 個人情報保護の観点より「地区名・性別」のみの発表とさせていただきます。詳細はお食事券の発送をもって代えさせていただきます。

## 第54回クイズの正解

問① 令和元年第4回定例会の一般質問した議員の人数は、〇〇名でした。 答え→[12]

問② 今定例会で設置された特別委員会の数は全部でいくつ? 答え→[4]

問③ 小美玉市が加入している一部事務組合・広域連合は合わせていくつ? 答え→[7]

### 議

議員の方々は、実践して今後どのように市政を改革するか話し合っ  
て実行してください。一市民の声です。  
(西郷地・男性)

### 答

えを見つけようと  
議会だよりを読み勉強にな  
ります。(羽鳥・女性)

### 令

和2年、小美玉市民の  
まちづくり住み良い小美玉市に期  
待しております。(幡谷・男性)

## 市民の声



たくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。

いつも感じている事だが、質  
問に対する回答が明確でない事が多  
い。簡単明瞭な回答を願います。  
(羽鳥・男性)

### 主

人の仕事の関係で福岡より  
小美玉に来て45年になりました。幼い頃の言  
葉(方言)は忘れないのか、未だに茨城弁には慣れま  
せん。でも、福岡の言葉より茨城弁のほうが、暖かみが  
あって私は好きです。住めば都と言いますように、私に  
とって茨城は最高のところ。  
(山野・女性)

# 市議会災害対策支援本部設置により支援体制整備



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、緊急事態宣言が発令されたことに伴い、市民の生命または生活に直接影響を及ぼす緊急時に機能的な活動を図るため、4月8日小美玉市議会災害対策支援本部（本部長：笹目雄一議長）を設置しました。

今後は、執行部との情報共有の強化を図るとともに、執行部が行う感染拡大防止対策と新たに国が行う生活支援や経済対策に伴う給付事業などに対して、適切な支援体制を整えます。

## 議員インターンシップ受け入れ



議員インターンシップ制度により大学生を受け入れました。この制度は、若者の政治への興味関心を喚起することで、若年層の政治離れを抑止し、社会経験を通じた精神的成長を目的としています。参加した阿部直美さんは、「異業種交流による市民の新たな繋がりが小美玉市では生まれていると感じた」と話してくれました。

（茨城大学、茨城キリスト教大学、常磐大学の大学生5名が参加）

## 6月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
31	6/1	2	3	4 本会議 (開会、議案説明等)	5	6
7	8	9	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13
14	15 常任委員会	16 常任委員会	17 常任委員会	18	19 本会議 (報告、採決、閉会)	20

\* 議場（市役所本庁舎3階）での傍聴には、簡単な受付（氏名・住所等の記入）が必要ですが、6月定例会の議会傍聴は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためご遠慮ください。

\* 委員会等の詳しい日程については、6月4日に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

\* 定例会中の本会議（一般質問など）は、同時放映を行っています。本庁舎、小川総合支所、玉里総合支所1階ロビーに設置されているTVモニターでご自由にご覧いただけます（受付は不要）。

次の定例会は

**6月4日（木）**

開会予定です

会議の種類	傍聴	モニター中継
本会議	可	有
委員会	要確認	無

## 編集後記

市民の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症により不安な日々をお過ごしと思います。

そのような中、新年度がスタートしました。いまだ感染症の拡大に収束の兆しが見えず、不安は募る一方ですが、事態を正しく知り、一人一人が適切な予防策を講じていくこと、その積み重ねが感染拡大防止につながっていくのではと思います。

市議会としても、引き続き全力で取り組んでまいります。理解とご協力をお願い申し上げます。

（幡谷好文）

発行編集責任者 議長 笹目 雄一  
 広報特別委員会 委員長 植木 弘子  
 副委員長 香取 憲一  
 委員 幡谷 好文  
 委員 木村 喜一  
 委員 島田 清一郎  
 委員 長津 智之  
 委員 戸田 見良

